

事前評価調書

I 事業概要																																																																		
事業名	農業農村整備事業（農地環境整備事業）																																																																	
地区名	しおせ 塩瀬地区																																																																	
事業箇所	しんしろししおせ 新城市塩瀬																																																																	
事業のあらまし	<p>本地区は新城市の中央部、豊川水系一級河川巴川沿いに位置し、河川と山林に囲まれた水田地帯である。</p> <p>本地区は、ほ場整備未実施であることから農地区画は狭小で不整形であり、用排水路は老朽化及び施設の破損が進み、日々の水管理に多大な労力を費やしている。また、農道の幅員が狭く効率的な営農の妨げとなっている。</p> <p>このため、区画整理により、ほ場の区画拡大、老朽化した用排水路の整備及び農道拡幅を行うことで営農条件を改善し、農作業及び維持管理の省力化を図り、優良農地の保全を促進するとともに、農作業の放棄による農地の荒廃を防ぐ。</p>																																																																	
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>優良農地の保全を促進し、農作業の放棄による農地の荒廃を防ぐ。</p>																																																																	
事業費	事業費		内訳																																																															
	9.6億円		■工事費 8.7億円、■用補費 0.3億円、■その他 0.6億円																																																															
事業期間	採択予定年度	2026年度	着工予定年度	2027年度	完成予定年度	2032年度																																																												
事業内容	区画整理 14.2ha																																																																	
II 評価																																																																		
①事業の必要性	1) 必要性	<p>本地区は、ほ場整備未実施であることから区画は狭小で不整形であり、用排水路は老朽化及び施設の破損が進み、日々の水管理に多大な労力を費やしている。また、道路の幅員が狭く効率的な営農の妨げとなっている。</p> <p>このため、区画整理により、ほ場の区画拡大、老朽化した用排水路の整備及び農道拡幅を行うことで営農条件を改善し、農作業及び維持管理の省力化を図り、優良農地の保全を促進するとともに、農作業の放棄による農地の荒廃を防ぐ必要がある。</p> <p>また、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」（農林水産省農村振興局整備部監修）に基づき算定したB/Cは1.1で1.0を越えている。</p>																																																																
	判定	A	<p>A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <p>農作業及び維持管理の省力化を図り、優良農地の保全を促進し、農作業の放棄による農地の荒廃を防ぐためには、区画整理による整備が必要である。</p>																																																															
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #add8e6;"> <th colspan="2"></th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>2029</th> <th>2030</th> <th>2031</th> <th>2032</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="2">←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td colspan="2">←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・区画整理工</td> <td colspan="2">←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="3">6.5</td> <td colspan="3">3.1</td> <td>9.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	合計	工種区分	調査・設計	←							→	用地補償		←						→	工事									・区画整理工	←							→	事業費（億円）		6.5			3.1			9.6	
			2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	合計																																																								
工種区分	調査・設計	←							→																																																									
	用地補償		←						→																																																									
	工事																																																																	
	・区画整理工	←							→																																																									
事業費（億円）		6.5			3.1			9.6																																																										

	2) 地元の合意形成	土地改良法に基づく申請事業であり、地元の合意形成が図られている	
	判定	A	A： 事業計画の実効性が期待できる。 B： 事業計画の実効性が期待できない。
		【理由】 地元の合意形成が図られており、事業計画の実効性が期待できる。	
Ⅲ 対応方針			
事業実施が妥当である。	事業実施が妥当である。： 上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。： 上記以外のもの。		
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容			
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 営農状況の確認 			